

鶏ふんペレットを利用した水稻の低コスト・省力栽培の取組

農場の概要

- ・ 富士見市下南畑地区
- ・ 対象作物：水稻

導入した資材等

- ・ 鶏ふんペレット (5.07-3.47-2.27)

導入の目的・ねらい

安価な鶏ふんペレットと流し込み肥料による追肥を組み合わせ、安価で省力的な水稻栽培の実証を行う。

試験概要

- | | | |
|-------------------------------|-------------------|-------------|
| ・ 面積 | 試験区：24 a | 対照区：28 a |
| ・ 品種 | コシヒカリ | |
| ・ 田植え日 | 5月24日 | ・ 収穫日 9月15日 |
| ・ 基肥：鶏ふんペレット (5.07-3.47-2.27) | 75.0kg/10a (田植え前) | |
| 化成肥料(5-15-15) | 20.0kg/10a (田植時) | |
| 追肥：流し込み肥料(15-0-6) | 8.3kg/10a (流し込み) | |
| (対照区：一発肥料(15-10-10 100日タイプ) | 40kg/10a(田植時)) | |



結果概要

- ・ 基肥の一部を鶏ふんペレットに置き換えることで、10 a 当たりの肥料代を約 4 割削減することができた。

(対照区：6,320円/10 a → 実証区：3,943円/10 a)

- ・ 肥料散布にかかる時間は、対照区に比較し約 3 倍に増加した。(対照区：27分 → 実証区：92分)

基肥は機械作業であり、追肥は労力のかからない作業だったため、農業者の負担感は少なかった。

- ・ 坪刈り調査では、対照区の約 9 割の収量を得られた。

(対照区精玄米収量：569kg、実証区精玄米収量：508kg)



実証区での田植えの様子

生産者コメント

- ・ 一発肥料の対照区と比較して、肥料の散布時間はかかってしまうものの、肥料代の削減ができる。

- ・ 追肥に流し込み肥料を使用することで、暑い時期の追肥作業が労力かけずに行うことができた。

問合せ先

川越農林振興センター

電話 049-242-1808



流し込み施肥の様子